

令和4年度 第1回 西淀川区地域福祉推進会議議事要旨

令和4年7月28日
午後6時30分～8時
区役所5階会議室

出席委員 14名

助言者 鈴木大介さん（大阪成蹊短期大学幼児教育学科准教授）

事務局 区役所 貴志保健福祉課長、井岡保健福祉課長代理、岡地保健福祉担当係長
区社協 麻井事務局長、西川地域支援担当係長、金子

1. あいさつ

池田委員長代理

2. 各部会からの報告

【資料2】：「ちょこっと♡助っ人ポイント制度」部会

- ・継続して登録説明会を開催し、活動者を募集している
- ・助っ人登録人数…第4回：2名 第5回：0名（中止） 第6回：4名 第7回：1名
計20名（R4.7.26時点）
- ・きらりにしよど、ボランティアエキスポ、自立支援協議会（生活・就労部会）にて周知
- ・活動先…8施設（清掃・エコキャップ洗浄・学習支援のサポートなど）
- ・今後の課題…施設向けの説明会について、ステキなもの一覧をどうしていくのか

【資料3】：「ウエルカムバンク」部会

- ・部会は月に1回開催
- ・9か国（31組 38名）の方にインタビューを実施
- ・子育て情報を求める声が多く聞かれた
- ・インタビューから見えてきた課題解決策としてにほんごカフェの開設を予定
- ・高齢者のお手伝いなどのボランティアをしたいという声も聞かれたため、「ちょこっと♡助っ人ポイント制度」も活用できるのではないかと

【資料4】：「となりのお節介さん」部会

- ・第2回、第3回「認定会」を実施した（認定者 計8名）
- ・清掃、花壇の世話、登校時の見守りなど目に見える活動をしている方が多い
- ・自薦は原則認めないため、「ちょこっと♡助っ人ポイント制度」など他の活動を紹介する
- ・インタビューの際に使用するオリジナルのしゃもじを作成
→興味を持ってもらうきっかけ、場を和ますもの
- ・フォーマットを使用し、インタビューを実施（9月頃実施予定）、インタビュー協力して

くれる部会員を募集する

- ・インタビューをもとに「ステキな“となりのお節介さん”だより」を作成する
- ・他薦のみであるなど活動がわかりにくい点もあるため、具体的な活動を掲載し、活動の見える化をはかる

【鈴木先生コメント】

- ・「ちょこっと♡助っ人ポイント制度」のステキなものは単なるものではなく、様々な機会の提供にもつながる
- ・「となりのお節介さん」のしゃもじやキャラクターはどんどん活用すべき
- ・活動の紹介や募集のみではなく、各部会の状況によって周知方法や内容を検討し、広報誌やそれ以外の媒体で広く区民の方に周知していく必要がある
- ・インタビュー写真など動く写真にすることができる

3. 「にほんごカフェ」の開設について 【資料5】

- ・数珠繋ぎインタビューから見えてきた課題から
 - ① 日本語を学ぶ場
 - ② 気軽に集える場
 - ③ 情報発信の場を目的とする
- ・すべての課題解決につながるわけではないが、何か困りごとや知りたいことがあれば、ここに行こうと思ってもらえるような場所づくり
- ・働いている方や子育て世代など幅広く対応できるように昼夜の2部開催する
- ・広報誌、外国の食材店などにチラシの配架、インタビューを行った方に個別周知する
- ・9月から開催予定→次回の推進会議で報告する

4. 地域福祉推進会議委員について

- ・「地域福祉推進会議設置要綱」の改正（R4.8.1 付け）
（委員）

第3条 委員は西淀川区に在住、在勤・在学の者、又は区内で活動する団体等で活動している者で組織する。

2 推進会議の委員の定数は30名以内とする。

3 委員の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

→推進会議で承認を得る

- ・7月から委員の募集をおこない、6名応募があった

→選考会をおこない、次回の推進会議から参加していただく

5. あいさつ

- ・西淀川区保健福祉課長：貴志嘉範
- ・西淀川区社協事務局長：麻井 郁

6. その他

- 「やさしい日本語」学習会の周知

次回：11月頃